

あのね

2024
12

あのね
2024年 12月号
通巻387号
発行 福音館書店 宣伝課

昨年12月、「こどものとも年中向き」2024年1月号として刊行された『おせち』には、「こんな絵本を待っていた!」と多くの感想が寄せられました。月刊絵本のため早々に品切れてしまいましたが、このたび待望のハードカバーでの刊行となりました。

重箱のなかにうつくしく詰められたおせちには、ひとつひとつ、古の人々の願いが込められています。本作で監修をつとめた和 cultura 研究家の三浦康子さんに、おせちのいわれと刊行への思いをつづっていただきました。



『おせち』

内田有美 文・絵／みつどめくにこ 満留邦子 料理／三浦康子 監修
定価1,100円(税込)
20×27cm／32ページ
4才から

内容紹介



「くろまめ びかびか あまい まめ。まめまめしく くらせますように」「きんとん きんかん きんいろ こがね。おかねが いっぱい たまりますように」など、おせち料理を美しい絵でひとつひとつ紹介しながら、そこに込められた願いをリズムカルなことばで伝える絵本です。時代も変わり、おせち料理もバラエティーに富んでいますが、今も昔も人々の願いは同じ。改めて日本の伝統食・おせち料理の良さを味わえる一冊です。

本物は子ども達にもちゃんと伝わる! 月刊絵本の『おせち』が瞬く間に大きな反響を呼び、異例の重版を経て、今回ハードカバーで刊行される運びとなりました。作り手として、こんなに嬉しいことはありません。

料理研究家の満留邦子さんが心を込めて作った料理を、内田有美さんが精密な絵とリズムカルな文で見事に表現し、私が監修を担当。大人達が精魂込めて作った絵本はじつにシンプルで美しく、日本の行事文化・食文化の奥深さに触れられる一冊になりました。

おせちにこだわるのには、理由があります。

おせちは日本の行事食の大黒柱です。もともとおせちは「御節供」「節供料理」といい、節日(季節)の変わり目など、祝いを行う日)を行う節供の料理全般のことをいいましたが、一番重要なお正月の料理を指すようになり、「おせち」と略されて親しまれるようになりました。

お正月は「年神様」という新年の神様を迎える行事です。年神様はご先祖様であり、田の神、山の神でもあると考えられているので、家々にやってきて幸

今、そして 未来のために 伝えたい 三浦康子

せをもたらすとされています。

おせちは年神様と一緒にいただく料理なので、五穀豊穡、子孫繁栄、無病息災、立身出世、長寿などの願いを込めて、こうした意味をもつ山海の幸を豊富に盛り込み、「祝い箸」を使って食べます。祝い箸は両方とも削られているので、一方を年神様用と考え、年神様と人が共に食事をすることを表しています。おせちを重箱に詰めるのは、幸せが重なるようにという意味です。

日本には、「見えない思いをモノやコトで表す文化」があります。なかでも、行事は「家族の幸せを願う気持ち」を形にしたものです。子どもがいうと、お正月、節分、節句、お月見など四季折々の行事に、自然と関心を寄せるようになる方も多いと思います。それは、子どものために幸せを願う行事をやっているか。

よく、お正月や節句の思い出を聞いていると、この人は愛されて育ったんだなと感じます。もちろん、あまりいい思い出がない方もいらっしゃると思いますが、そういう方も、自分の子にはやって

あげたいと仰います。

私は和 cultura 研究家として長年活動する中で、日本の行事は愛情表現であり、子育てを豊かにするものだ と確信しました。そこで、文化と愛情を伝える日本の行事が子育てに大変役立つことが伝わるよう、「行事育」と名付けて提唱しています。同じ時間を過ごすなら、「行事育」を活かさないなんてモッタイナイ。

また、行事は繰り返される文化なので、毎年その時期がくるたびに、思い出が蘇ってくるという特徴があります。私はこれを、「思い出ボタン」と呼んでいます。行事が脈々と伝承されてきたのは、文化を継承しているという高尚な意思よりも、「思い出ボタン」の効果で、「やっぱりいいもんだから、やりたいな」と感じるからではないでしょうか。愛情を感じる思い出はかけがえのない宝物になり、家族の絆を強めることにもつながります。

最近はおせちの内容がバラエティーに富んでいます。が、幸せを願う気持ちが込められた伝統的なおせち文化を大切にしたいと思っています。「思い出ボタン」が押されるたびに笑顔になれる、そんな経験をして欲しいからです。

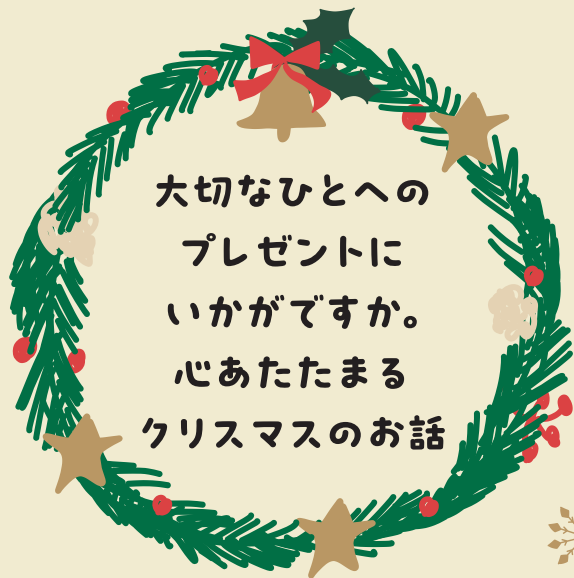
絵本『おせち』は楽しく読めるだけでなく、今、そして未来のための一冊になるはず。一人でも多くの方に届きますように。



みうらやすこ

和 cultura 研究家。古き良き日本の文化をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、Web、講演などでレクチャーしており、「行事育」提唱者としても注目されている。All About「暮らしの歳時記」、私の根っこプロジェクト「暮らしの歳時記」などを立ち上げ、大学で教鞭をとるなど活動は多岐にわたる。著書「子どもに伝えたい 春夏秋冬 和の行事を楽しむ絵本」(永岡書店)、『天然生活手帖2025』(扶桑社)、監修書「季節を楽しむ366日」(朝日新聞出版)などがある。





大切なひとへの
プレゼントに
いかがですか。
心あたたまる
クリスマスのお話

皮肉屋だけど実は
やさしいサンタクロース



さむがりやのサンタ
レイモンド・ブリッグズ 作・絵
すがはらひろくに 訳
定価1,320円(税込) / 32ページ
狭い煙突の通路に文句をいながら、プレゼントを配達して歩くサンタのおじいさん。ほんとはちょっと気むずかしやで寒がりなんです。

4才
から



クリスマスツリーの
てっぺんには……



こねこのウィンクルと
クリスマスツリー
ルース・エインズワース 作
上條由美子 訳 / さとうゆうすけ 絵
定価1,760円(税込) / 40ページ
クリスマスツリーにさわりたい子猫のウィンクルはこっそり寝床をぬけだしました。美しい絵で楽しむクラシックなクリスマス絵本。

4才
から



子犬がみつけた、たいせつな友だち



クリスマスマーケット
ちいさなクロのおはなし
降矢なな 文・絵
定価1,650円(税込) / 40ページ
子犬のクロが、なーちゃんのために12月のクリスマスマーケットを駆け回る、クリスマスに親子で読みたい心あたたまるお話。

5・6才
から



お客さまは誰？
ぐりとぐらのクリスマス絵本
ぐりとぐらのおきやくさま
なががわりえこ 作 / やまわきゆりこ 絵
定価1,100円(税込) / 28ページ
ぐりとぐらが雪の上に見つけた大きな足あととは、自分たちの家まで続いていた。ドキドキしながら楽しめるサンタクロースの絵本。

3才
から

様々な書き手によるクリスマスの9つのお話



クリスマスのりんご
クリスマスをめぐる九つのお話
ルース・ソーヤー、アリソン・アトリーほか 文
上條由美子 編・訳 / たかおゆうこ 絵
定価1,650円(税込) / 200ページ
クリスマスにまつわるお話、9編が入った短編集。アトリー、エインズワース、ソーヤーなど様々な書き手によるお話を素敵な挿絵とともに。

4才
から

もみの木と男の子の、美しいクリスマスの物語



ちいさなもみのき
マーガレット・ワイズ・ブラウン 作
バーバラ・クーニー 絵
かみじょうゆみこ 訳
定価1,210円(税込) / 36ページ
ある冬の日、森のはずれに育った小さなもみの木が、足の悪い男の子のもとへ運ばれます。美しい文と絵で語られるクリスマスの絵本。

4才
から

ツリーにぴったりのお星さま、見つかるかな？



刺繍でおりなす
心温まる
クリスマス・イブ



3才
から



エリーちゃんのクリスマス
メアリー・チャルマーズ 作
おびかゆうこ 訳
定価990円(税込) / 24ページ
クリスマスツリーのてっぺんに飾るお星さまを探しに、雪のなかを飛びだしたエリーちゃん。さあ、お星さまは見つかるかな？

3才
から

クリスマス・イブのおはなし [3冊]
長尾玲子 作
定価1,980円(税込) / 各32ページ
『あちゃんとゆびにんぎょう』『100こめのクリスマス・ケーキ』『サンタさんのいちにち』。美しい刺繍で綴った手のひらサイズの3冊セット。

画家ホフマンが描く、
キリスト誕生の物語



クリスマスのものがたり
フェリクス・ホフマン 作
しょうこうきち 訳
定価1,430円(税込) / 32ページ
マリアは天使のおつげによりイエス・キリストを生まれました。スイスの画家ホフマンが、キリスト誕生の物語を真正面から描いた作品。

5・6才
から

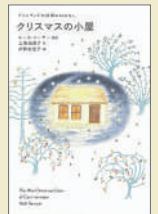
小さなものたちによる、心温まるクリスマス



クリスマスのちいさなおくりもの
アリソン・アトリー 作
上條由美子 訳 / 山内ふじ江 絵
定価990円(税込) / 32ページ
住んでいる家のクリスマスの準備ができていないことを心配したねこことねずみは、急いでケーキを焼いたり、飾りつけを始めます。

4才
から

感動を呼ぶ、アイルランドの幻想的な伝説



クリスマスの小屋
アイルランドの妖精のおはなし
ルース・ソーヤー 再話 / 上條由美子 訳
岸野衣里子 画
定価1,650円(税込) / 64ページ
逆境のなかで前向きに生きる女性の願いが、妖精によって叶えられる——感動を呼ぶ、アイルランドの幻想的な伝説。

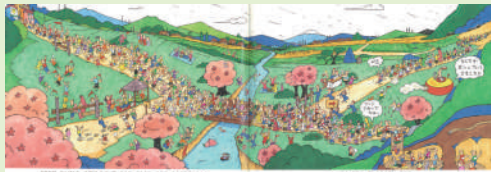
小学
中学年
から

12月の新刊

大迫力のランナー達と主人公二人のドラマを



うさおとめきちの マラソンたいかい
中垣ゆたか 作
定価1,320円(税込) / 32ページ
今日はマラソン大会。ずるがしこいうさおと、マイペースなめきちの二人も参加するようです。先にゴールするのはどっち？



5・6才
から

お留守番中に起こった不思議なファンタジー



おるすばん
森洋子 作
定価1,320円(税込) / 32ページ
あっちゃんが初めてひとりでお留守番をしていると、台所の料理道具や野菜たちが踊り始めました。不思議で美しいファンタジー。

5・6才
から

日時限定
オープン中！



刊行中の全作品が揃う /
ふくいんかんの
えほんやさん

ぜひ遊びに
いらしてください。

12月は、13日(金)、23日(月)、
10:00~16:00にオープンします。

絵本の読み聞かせや絵本選びの
お手伝いも行っています。

所在地：〒113-8686 東京都文京区本駒込6-6-3



©Akiko Hayashi

福音館の月刊誌 1月号のご紹介

ピックアップ /

ちいさな
かがくのとも



そのなかには……？
荒井真紀 作

箱を開けると、その中には
たくさんのみかん。みかんを1つ取り出して皮をむくと、その中には
たくさんのもも。ももを1つ取り出して皮をむくと、その中には
……？ 本物のみかんにしか見えない精緻な絵が圧巻です。



こどものとも 0.1.2.

まるのこ
殿内真帆 作

赤、青、黄のまるのこたちが、いろんな動きを見せてくれます。



こどものとも

おやすみしりとり
大原悦子 文 / 坂口友佳子 絵
うまく寝つけないクマくんはキツネくんとしりとりを始めます。



こどものとも 年少版

ちいさなショベルローダ
のさかゆうさく 作
ちいさなショベルローダが、広い駐車場の雪かきをしていきます。



こどものとも

さむさむぼっこの おはなし
荒川薫 文 / ちえちひろ 絵
さむがりっことは、さむさむぼっかが捕まえて凍らせちゃうぞ！



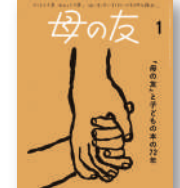
かがくのとも

マッコウクジラ
加藤秀弘 文 / 大片忠明 絵
マッコウクジラの生態に迫る絵本。ダイオウイカをどう食べる!?



たくさんのふしぎ

あっちゃんのおせち日記
さげさのりこ 文・絵
自分で作るおせち。栗きんとんのサツマイモ作りから始めます。



母の友

特集『母の友』と子どもの本の72年
休刊にむけての「さよなら特集」第2弾。
角野栄子さんと田島征三さん、多くの絵本作家、
童話作家にご登場いただきます。

あのねメール通信 https://www.fukuinkan.co.jp/mail_magazine/

X (旧 Twitter) @Fukuinkan_PR

Facebook

www.facebook.com/fukuinkan

LINE

@fukuinkan_shoten

ホームページ

<https://www.fukuinkan.co.jp/>

Instagram

@fukuinkan_pr

発行●福音館書店 宣伝課 〒113-8686 東京都文京区本駒込6-6-3 TEL 03-3942-2066 FAX 03-3942-2067 デザイン●笹垣芳絵